

1年の村づくりを提案するのが「施政方針」であり、実行するために必要なお金が「予算」です。これらを審議する岩室村議会定例会が、先月9日から19日にかけて開かれました。今月9日は定例会の初日に行われた施政方針と、最終日に議決された予算の概要を皆さんにお知らせします。

# 平成16年度 施政方針の概要

現在、国は「補助金の削減」「交付税の見直し」「税源移譲」を三位一体とする地方財政改革を強力に進めているものの、国の財政危機を背景に税源移譲が計画どおり進まないことから、地方財政は非常に厳しい状況となっています。

地方交付税総額は、臨時財政対策債を加えた実質額で前年度比12.0%の大幅減となり、また前年度に引き続き段階補正が見直され、補助金の一般財源化と合わせて小規模市町村にとっては、さらに厳しい財政見通しとなる中、本村でも、景気の長期低迷に伴う税収の落ち込みなどにより、年々安定した歳入確保が困難となつてきています。

容が求められています。こうした住民要望にこたえる効率的な行政運営を目指すためには、行政基盤の強化につながる市町村合併は非常に有効な方策であることから、本村では将来にわたり地域の存立を図るため、積極的に取り組んできました。

自治体の役割は、地域の振興を図り、地域住民の福祉の増進を図ることにあります。合併までの残された期間、地域の要望等を住民全体の視点での確に捉え、将来にわたる地域振興の基礎づくりをすすめていきます。

今年度一般会計予算は、総額で36億5,500万円、前年度と比較して4%増となりました。

予算編成に当たっては、合併関連経費を含み、各種事業を計上しましたが、現在の財



介護保険は、制度やサービスが広く周知され、利用も大幅に伸びています。国からの補助金が廃止される中、「介護予防・生活支援事業」を継続し、「生きがい通所事業」「地域グループ支援事業」などで高齢者を支援します。

### 障害福祉

昨年の制度改正で、障害者自身がサービスを選択する支援費制度が始まりました。障害者の地域における生活支援体制を整備し、「西蒲原郡障害者地域生活推進特別事業」に取り組みます。

### 児童福祉

多様な子育てニーズに対応するため、次世代育成支援のための行動計画を策定します。保育園では乳児保育や早朝、延長保育及び一時保育の実施、昨年から全土曜日の希望保育の実施など、少子化に対応するための子育て支援を図ります。

### 環境衛生

ごみの再資源化の取り組みを強化し、リサイクル型の環境

境に優しく、自然との調和のとれた村づくりを目指します。

### 保健衛生

基本健康診査、各種がん検診等を実施し、健康相談や検診後の指導会等の充実を目指します。育児の相談、情報交換の場としてマタニティサークルを開設し、乳幼児の医療費助成とともに子育て世代を支援します。

### 住民基本台帳・戸籍

住民サービスの向上のため、戸籍総合情報システムを導入し、戸籍のコンピュータ化をすすめる、事務処理の時間短縮を図ります。



▲果物を味わう子どもたちのために

## 健康でいきいき暮らせる村づくり

●介護予防・生活支援事業費	1,262
●放課後児童クラブ運営費	482
●普通ごみ・粗大ごみ収集費	2,472
●健康診査・各種検診事業費	1,922
●戸籍コンピュータ化経費	1,523

設」は地元関係団体を中心に活用をすすめます。

### 商工業振興

商工会との連携を図りながら村内産業の振興に努めます。また、新潟県緊急地域雇用創出特別基金事業に取り組み、雇用対策を図ります。

### 学校教育

教育内容の充実を図りながら「総合的な学習の時間」を実現し、未来を担う児童生徒の「生きる力」の育成に努めます。昨年度に引き続き「学力向上到達度評価テスト」を導入し、学力向上への取り組みを行い、基礎的学力の定着を図ります。

### 給食センター業務

「地産地消」の観点から、生産者の顔が見える地元産食材を利用し、安全でおいしい給食を提供します。

### 社会教育

「村づくりは、人づくり」を基本理念に事業を推進し、男の料理教室の継続、おらが村ふるさと講座に代表される各講座の充実を図ります。開館7年目を迎える図書館は、地域の「情報発信基地」として利用者へのサービス向上に努めます。

### 社会体育

「岩室村スポーツ振興計画」に基づいて、村民が健康づくりや体力づくりのために主体的に運動やスポーツに取り組

## ぬくもりと快適なまちづくりの推進

●村道工事(維持補修・改良)、修繕費	7,386
●県道路事業負担金	550

むことができる環境づくりを推進します。

### 村道整備

矢川3号橋の橋梁詳細設計の着手や、村道岩室駅東線整備工事を施工し、地域間の利便性の向上を図ります。

### 県道整備

新潟寺泊線の岩室バイパス(仮称)は橋本地内の用地買収、石瀬古田線は久保田地内から南谷内地内の歩道整備を含む大幅整備工事、新潟五泉間瀬線の西長島地内の消雪パイプ布設等が計画されています。

## 明日へつなく農林水産業の振興

●水田農業構造改革事業費	3,801
●県営かんがい排水・農地防災事業負担金	2,039
●農村振興総合整備事業費	3,910
●新潟地方植樹祭会場造成工事費	1,000

### 農業振興

本年度から航空防除を中止することで、減農薬栽培が可能となったため、良質米の生産を更に推進します。また、本作大豆への取り組みを促進するとともに、大豆とホールクropp稲のほか特定作物に枝豆を加え、主産地形成を目指します。



▲良質米の生産を目標として

### 生産基盤整備

県営かんがい排水や農地防災事業、国営造成施設管理体制改革事業などの促進に引き続き努力します。

### 農村振興総合整備

歩道舗装、農村公園整備、集落開発センターのバリアフリー対策工事等により、農村地域の生活環境整備を図ります。

### 林業振興

間瀬埋立地の一部を第32回新潟地方植樹祭の会場地として整備し、合併に伴う記念事業の一環となる祭典を計画しています。

## 魅力ある観光と活力ある産業の振興

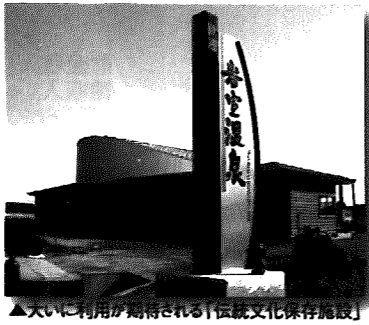
●村観光協会補助金	267
●観光宣伝費	120
●緊急地域雇用創出特別基金事業費	296

### 観光振興

多宝山の登山道整備、ほたるで親しまれている岩室弘川や三居の清水散策道の活用を図ります。先月完成した「岩室下ノ郷伝統文化伝承保存施

## 新しい教育の推進と人づくり

●学力向上到達度評価テスト導入費	34
●地元産転作大豆味噌・コシヒカリ・牛乳使用補助金	122
●生涯学習推進事業費	65
●村民野球場灯具安定器取替工事	230



▲大いに利用が期待される「伝統文化保存施設」